

神楽人の祭展

東九州

神楽人とは、神楽を愉しむ人たちのこと。
神楽人が暮らす里では、神楽を舞い奏で奉納する人たち、
神楽を主催する氏子たち、神楽を見守る見物人たち、
東九州にも、様々な神楽がそれぞれの里に息づいています。
それぞれの神楽の里を訪ね、神楽人に出逢う旅に出かけませんか。



京築神楽

京築神楽
Keichiku-kagura



福岡県北東部に位置する京築地域では、古くから神楽等に
関わる祭が繰り広げられ、小集落ごとに四季折々の催事として
継承されてきました。全国各地の神楽が時代の流れとともに途絶えていく中、京築地域では、里の人々によって
神楽が大切に守られ、次世代へと受け継がれています。
現在、京築地域では、28もの団体が国重要無形民俗文化財として
指定された「豊前神楽」として活動しています。

庄内神楽

庄内神楽
Shonai-kagura



大分県由布市庄内町に伝わる庄内神楽。江戸末期に伝わったとされる深山流神楽と大山流神楽という二つの流派が伝承されています。その舞は勇壮かつ滑稽な動きで人々を沸かせます。樂は大振りで叩く力強い太鼓の音が特徴。現在12の神楽座が継承し活動しています。今回出演する「櫟木神楽座」は、昭和52年、杜神社有志一同により発足しました。大分市春日神社の奉納をはじめ、市内外の神社・各種イベント、さらにボランティアにも参加しております。

諸塚神楽

諸塚神楽
Morotsuka-kagura



九州脊梁山地の懷深く、標高1,000m級の山々に囲まれた小さな山里・宮崎県諸塚村。諸塚神楽には、他に類のない200体を超える神楽面が代々伝えられ、天照大神や天鉤命、手力男神といった神話の英雄だけではなく、山の神や水神など土地由来の神々も登場します。日向神話の物語に登場する神々に、焼き畑農耕や狩猟採集など山の恵みを活かしながら暮らしてきたこの土地ならではの神々も加わり、神と人とが共に舞い遊ぶ世界が夜通し繰り広げられます。

特別展示 会場 1Fエントランス

8.29(火)~9.10(日) 諸塚神楽の『御神屋』を再現。京築・庄内・諸塚神楽の貴重な面や衣装、道具などを展示し、東九州に伝わる神楽文化の魅力を紹介します。

神楽公演 会場

京築神楽
庄内神楽

1Fミュージアムホール
※各日9:30~入場整理券配布

諸塚神楽
1Fエントランス
※入場整理券不要

9.9(土)

庄内神楽
Shonai

11:30~
貴見城
13:15~
日割

京築神楽
Keichiku

12:05~
綱御先
12:30~
戸前神楽

諸塚神楽
Morotsuka

14:30~
天神
弓の正護(中)
荒神

9.10(日)

諸塚神楽
Morotsuka

南川神楽保存会

10:00~
弓の正護(下)
柴取

13:15~
弓の正護(中)
稲荷

京築神楽
Keichiku

岩丸神楽講[築上町]

11:30~
小神楽

成恒神楽講[上毛町]

14:30~
乱御先

吉富神楽[吉富町]

11:55~
花神楽

黒土神楽講[豊前市]

15:05~
神迎神楽

光富保存会[みやこ町]

12:25~
前御先

神楽体験ワークショップ

参加料無料

御幣づくりワークショップ(諸塚神楽)

日時
9.9(土) 13:00~
9.10(日) 12:00~

会場
研修室A

参加人数
10~15名/回
※各日9:30~参加整理券を配布



神楽装束体験(庄内神楽)

神楽の衣装や面を着け、
神楽人になりきろう。

日時
9.9(土) 随時受け付け

会場
1Fエントランス

神楽記念撮影コーナー(各公演団体)

神楽人といっしょに記念撮影。

日時
9.9(土)
9.10(日)
各公演終了後

会場
1Fエントランス